

シネマズライフ

2012年11月2日発行 第27号 <http://p.booklog.jp/users/rion-takagi> 貴樹 諒音(たかぎ りおん)

映画の風景 日本の風景

※ 大阪駅・時空の広場 ※

主人谷達が住む町の撮影は長野県の諏訪湖近くで、その風景が実に美しい。今、大阪駅の「時空の広場」で『ブルーアーカイブ ミュージアム』が行われており、数々の花が咲いている。ちよつと、美しい花をゆつたりと見ていると心も美しくなると思うのだ。

始めるが、やがて意外な事実がわかり



場違いのバーコードは別にして、花を見ていると癒されます。

昔、『いま、会いにゆきます』という映画があった。こんな映画だ。ある年の梅雨の季節。一年前、妻・淳を亡くした巧と母を亡くした佑司は、ひっそりと暮らしていた。実は、亡くなる前に淳は二人に、「一年たったら、雨の季節に又戻ってくるから...」つという言葉を残しており、少しは期待したりもするが、信じられる訳もなかった。ところがある日、思い出の場所に行くと二人の前には死んだはずの淳が現れる。淳は記憶を無くし、二人の事はいない様子で暮らしている。始めに暮らして

『いま、会いにゆきます』2004年 日本 監督：土井裕泰 出演：竹内結子 中村獅童 武井証 浅利陽介 平岡祐太 中村嘉徳 市川実日子

純愛映画でありながら、SF映画としても堪能できる不思議な映画。見るだけで心が優くなるような映画は最近では珍しい。

CS・BS放送のオススメ映画を紹介します！



『キャリー』

WOWOWシネマ

1976年 アメリカ

監督：ブライアン・デ・パルマ 原作：スティーブン・キング

出演：シシー・スペイセク パイパー・ローリー エイミー・アービング ウィリアム・カット ナンシー・アレン

11月05日(月) 深夜 27:00 ⇒ 11月06日(火) 03:00

ハイスクールに通うキャリーは、狂信的な宗教に凝る母に育てられた為、おどおどした気弱な少女に成長し、その上・不思議な能力を持っていた。

また、学校でも暗いキャリーは嫌われており、ある日、ある事件から彼女はますます学校でいじめられるようになる。

だが、いじめた事を反省した生徒の計らいで、卒業パーティに参加できる事なるが、そのパーティで悲劇が起こる...

公開当時、恐怖のラストが話題になった作品。ホンマに恐い！

主演のキャリーを演じたシシー・スペイセクは公開当時27才。とても高校生をやれる年齢ではないが、高校生に見えるところがさすがである。ちなみにジョントラヴォルタが22才・ウィリアム・カットは25才・ナンシー・アレンは26才・エイミー・アービングが23才...

現在では『ハイスクール・ミュージカル』の主な出演者は、最高でも22才。役者の層が厚くなったという事かな...

『ロボジー』

WOWOWシネマプライム

2012年 日本

脚本・監督：矢口史靖

出演：ミッキー・カーチス 吉高由里子 濱田岳

11月10日(土) 21:00【シネマ】
11月11日(日) 20:00【プライム】

家電メーカー木村電器のエンジニア・小林、太田、長井は《ロボット博》の為、ワンマン社長にロボットを製作する事を命令されていたが、突発的な出来事からそのロボットが壊れてしまう。しかし、一週間後の《ロボット博》にはロボットを出品せねばならず困惑。そこで彼らは一計を案じ、ロボットの中に入る人間を探し《ロボット博》の時だけ中に入って動いてもらう事を計画する。早速、オーディションを密かにを行い、採用されたのが73歳の鈴木さん。早速《ロボット博》に『ニュー潮風』として参加するが、中に入っている鈴木さんがロボットらしくからめ勝手な行動をした上、人命救助までしてしまった為新聞沙汰に。それに気をよくした社長は『ニュー潮風』を、会社のPRに使う事を決定。小林、太田、長井達は鈴木さんの入った『ニュー潮風』を連れて全国を回る事になる。一方、《ロボット博》で『ニュー潮風』に助けられて一目惚れしたロボットオタクの葉子がある疑問を抱き...

吉高由里子のロボットオタクぶりがはまっていて妙に関心したりします、必見！

☆ ネットでも読めるミニコミ誌です！主に映画の紹介とコラムです。よろしかったら、コメントで感想・お叱りお聞かせください。よろしくお願います！

貴樹 諒音

※ 貴樹 諒音 ※ cinemaz-life@movie.nifty.jp ※ 告知ブログ ※ <http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/>

発行予定は第一・三金曜日 m(_)_m

次回発行は2012年11月16日です。∞

☆ 最近のこれはお見事！「は、見事な映画の題名の紹介します反して、【最近のこれはまずいぞー】は、これは、まずいぞー！」と思う映画の題名を紹介します。

【最近のこれはお見事!】

『恋に至る病』

『ポップでキュートな突然変異的恋愛映画』だそうだが、お話はかなり変な映画なようです。

2012年 アメリカ 製作・ショー・ワルニー・グラント・ヘスロフ 監督・製作・主演:ベン・アフレック
「アルゴ」 出演:アラン・アーキン ジョン・グッドマン カイル・チャンドラー

今でも、落ちつく気配のない中東、イランはその中の国の一つだ。51年・イランでは、新大統領モサデクが就任、英米が支配していた石油を国有化して、「民のもの」としたが、それに不満に思う英米が画策し、2年後モサデク大統領は失脚。英米寄りのパーレビが国王となつたが、余りの浪費と民衆を弾圧し始め、民衆の怒りを買ひ、79年にパーレビ国王は追放され、代わつてイスラム教シーア派のホメイニ師が亡命先から帰国した。それから、イランはパーレビ国王派達の肅清と政治の混乱が始まった。そんな頃、亡命していたパーレビが癌を患いその治療の為、アメリカに渡米、イラン国民

の怒りを買ひ、イランのアメリカ大使館は占領されてしまう。しかし、混乱の最中大使館から6人が脱出、カナダ大使館に逃げ込む。アメリカ大使館を占領する民衆達はその事を知らず、わかると大使館員達の命はあぶない。そこで、アメリカは密かに6人の脱出を図るが、計画は進まない。そこで、CIAの人



質奪還のプロ・メンデスが呼ばれるが、過激なイランの民衆を欺いての脱出は困難だ。そこで、メンデスは一計を案じる...

アメリカの中東政策の失敗は、さておき、『人を助ける』とは?という事を深く考えさせられる映画だ。映画として緊迫感がハンパない映画、見ていて疲れません。

Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema

【最近のこれはまずいぞ!】『ゾンビ革命ーフアン・オブ・ザ・デッドー』ゾンビって、革命もするんやね。

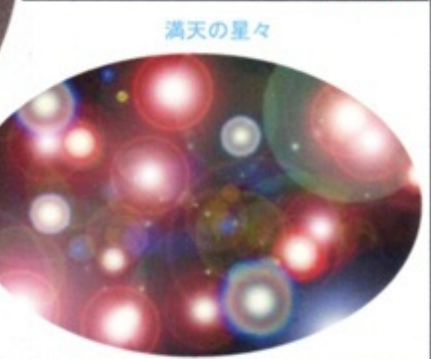


都会の夜空を見上げると残念だが星はあまり見えない。しかし、花火のような輝く光を見えてくるような気がするのだ。冬の花火を見に行こう...、そう思うが遠すぎて簡単にはいけない。そうして、今日もまた、夜空を見上げる私なのです。



私は花火が好きだ。夜空に瞬間輝く光は永遠ではないが、その輝きは、一瞬ではあるが心を癒してくれる...

私が冬でも夜空を見上げる理由。《花火》といえば、夏が相場だが、調べてみると冬に花火を上げる地域も多い。日本三景の一つ・天橋立で10月28日に、一月には河口湖でも開催されるそう。クリスマス頃には伊東温泉でも毎年行われている。



※編集後記※
 ☆先日『やはりさき都市伝説』で、ビル・ゲイツの長野の建物についての話があった。この番組では、ビル・ゲイツがしゃれの通じない人だったら絶対に名誉棄損で訴えられるんじゃないの?って話。特に長野に作った建物が謎!って話を調べてみるとそれは軽井沢の『別荘』。建築費は80億円そうだが、彼ならそのくらいの別荘は建てられるだろう。それに、あっちこっち別荘持つてるみたいだし。なぜ、作ったのかといえ、好きだったジーン・レインが度々訪れた地だったからだと。事、番組が番組だから、まとも信じる人はいないだろうけど、やることなすこと『陰謀説』に取り替えられるとねえ。
 ☆日本はもう冬です。皆さま、お体お気を付けてくださいませ。

運営会社：株式会社paperboy&co.